

県都グランドデザイン(案) 概要版

将来像

誰もが主役に！楽しさあふれる県都
—あなたからはじまる、福井まちなか。

福井の玄関口として、交通ネットワークの中心に位置する福井駅周辺に、厚みのある歴史、豊かな自然、商業施設や食、文化・スポーツ拠点など、さまざまな魅力を重ねることにより、さらに多くの人を惹きつけ目的地となるまちなかを形成する。

多様な人が集い、交流し、自ら新たな価値やにぎわいを生み出し、まちの魅力を高め、人が人を呼ぶ「楽しさ」あふれる県都を目指す。



目標年次 2040年

基本方針

県都リノベーション

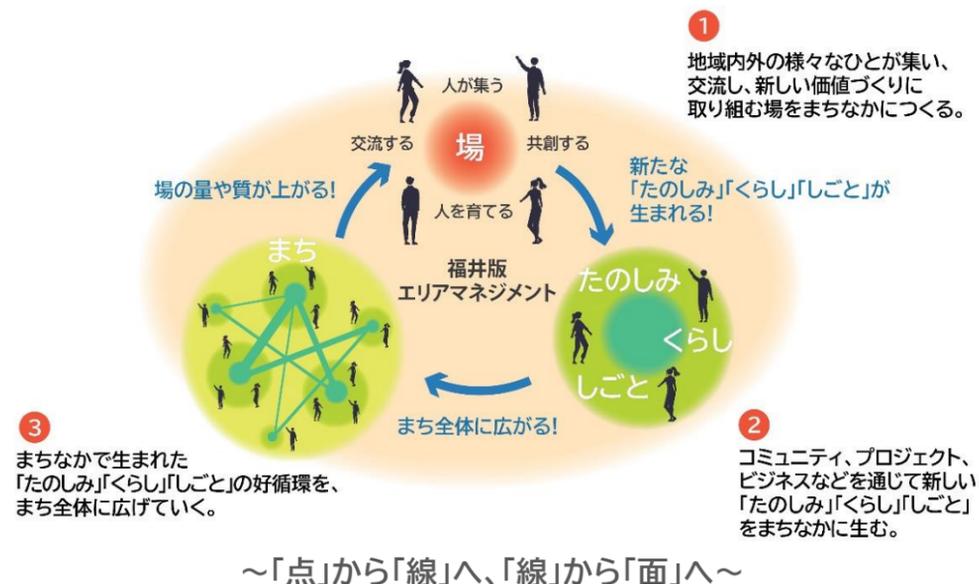
分散した都市機能をまちなかに再配置し、エリア価値を最大化
 ~まちなかに「つくる」、まちなかに「あつめる」、まちなかに「のこす」~

都市機能が郊外に分散している現状を踏まえ、今後、新たな施設の配置や施設の建替えの検討の際には、まちなかへの誘導を進める。

県都が積み重ねてきた歴史やまちなかの自然環境、充実した都市基盤などの価値を活かしつつ、新たな機能を付加する「県都リノベーション」により、投資と人材を呼び込み、エリアの価値を最大化していく。

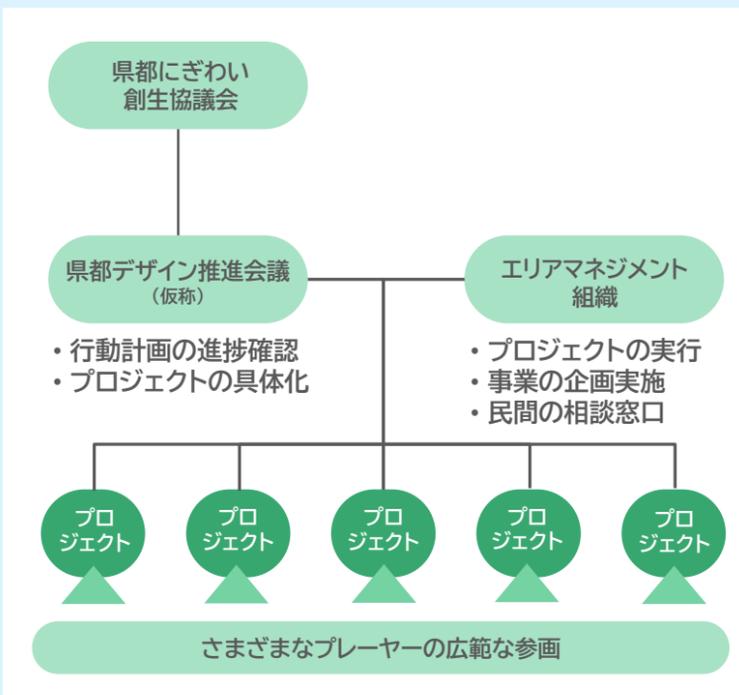
戦略

「さまざまな世代や立場の人が混ざり合う場」福井まちなか。
 ここから、新しい「たのしみ」「暮らし」「しごと」を共に創り出し、
 まち全体へ広げていく。



推進の仕組み

- 「県都にぎわい創生協議会」の下部組織として、福井県・福井市・福井商工会議所等で構成する「県都デザイン推進会議(仮称)」を設け、行動計画の進捗を確認し、プロジェクトの具体化を進める。
- 新たな「エリアマネジメント組織」を設置し、プロジェクトの実行および新たな事業の企画実施等を行う。



～主なプロジェクト～

“たのしみ”をつくる

目標1 歴史や自然を活かした歩きたくなるまちをつくる
福井城址や北の庄城址などの歴史拠点の魅力をさらに高めるとともに、足羽山や足羽川など、まちの自然を最大限に活かす環境をつくり、まちなか周遊を拡大する。

- ・福井城址の石垣ライトアップや、坤櫓・西側土塀等の復元
- ・砂利河原の復元や階段護岸の整備、通年型のイベント実施、ライトアップ等による足羽川のにぎわい創出
- ・石畳化や統一した建物の景観整備による、そぞろ歩きしたくなる洗練された浜町の形成



目標2 ワクワクとドキドキのエンタメ空間をつくる
まちなかの公共空間を活用したイベント開催や恐竜をテーマとしたコンテンツ整備などにより、大人から子どもまで楽しめるまちなかをつくる。

- ・恐竜モニュメントの設置やデジタル技術を活用したコンテンツの整備等による恐竜にあふれたインパクトある景観の形成
- ・歩道舗装や植樹帯等の再整備、キッチンカーの出店やベンチ等の設置による、歩行者空間のにぎわいの醸成
- ・「戦国列車」や「恐竜バス」などのエンタメ交通の運行



目標3 文化・芸術やスポーツを楽しめるまちをつくる
まちなかの新たな機能として、文化ホールやアリーナなどを整備し、まちなかを文化・芸術やスポーツを楽しむ拠点にする。

- ・市民の文化活動の拠点となる文化ホールの整備
- ・Bリーグなどのプロスポーツやコンサートなど様々なイベントに活用できる多目的アリーナの整備
- ・コンベンション、企業展示会やeスポーツイベントなどの開催



“くらし”をつくる

目標4 多様な交流の場と住まいをつくる
幅広い世代のニーズに合う住まいと、様々なコミュニティが生まれる居住環境をつくる。

- ・マンション建設や空き家の改修等による、まちなか居住人口の拡大
- ・まちづくり活動や起業に高い関心を持つ学生等を対象としたまちなか居住の支援



目標5 魅力ある食文化と商業エリアをつくる
福井ならではの食が楽しめる店舗を増やし、通り・エリアごとに特徴のある商業エリアを形成する。

- ・フードホールの整備や若手料理人の誘致による福井の食文化の魅力向上
- ・「洗練された飲食店が立並ぶ浜町」など、エリアブランディングを強化



目標6 誰もが移動しやすい交通環境をつくる
新たなモビリティサービスの導入により、まちなかへの来訪やまちなかでの移動を快適にする。

- ・移動と観光サービスをシームレス化する観光型MaaSの導入
- ・電動アシスト自転車や低速電動カート等によるまちなか移動の利便性の向上



“しごと”をつくる

目標7 しごとに生きる学びの場をつくる
多様な講座や実践を通して幅広い世代が学び交流し、仕事につながる機会をつくる。

- ・まちなか全体をキャンパスと見立て、学びと活動を通じてまちづくりの担い手を育成する「ふくまち大学(仮称)」プログラムを推進



目標8 プロジェクトを共創する場をつくる
多様な人材が出会い共創する機会を拡大し、新たなプロジェクトやビジネスアイデアを生み出す。

- ・革新的なアイデアを新商品開発や新産業創造につなげるイノベーションラボを構築
- ・健康やスポーツをテーマとした「健康・スポーツラボ(仮称)」を設置し、新たなビジネスを創出

目標9 新たなビジネスの場をつくる
まちなかでのオフィス環境と起業にチャレンジできる仕組みを充実し、新たなビジネスを創出する。

- ・オフィス環境を拡充し、県内外の企業や研究機関をまちなかに誘致
- ・スタートアップ育成講座の開催や初期経費支援などによる学生・若者の起業促進